

処女ゲバゲバ (1969)

VIOLENT VIRGIN

メディア 映画

ジャンル エロティック サスペンス

製作国 日本

色彩 B&W/C

時間 66分

初公開日 1969/

【解説】

「女学生ゲリラ」の出口出が脚本を執筆し若松孝二がメガホンをとった作品。タイトルの「処女ゲバゲバ」は映画監督の大島渚により命名された。出口出は若松と足立正生、大和屋竺の共同ペンネーム。

組織のボスの女である花子に手を出した星は花子とともに、ボスが科した罰を受けることになった。花子は荒野に立てられた十字架にかけられ、星は三人の女と順番に寝るように命じられる。星は隙を見て荒野に逃げ出すのだったが…。

【クレジット】

監督 若松孝二

脚本 大和屋竺

脚本名義 出口出

撮影 伊東英男

音楽 迷宮世界

照明 磯貝一

出演 谷川俊之

芦川絵里

林美樹

大和屋竺

木俣堯喬